

Welcome to 沼津

令和7年5月1日

河川・海岸

編集発行: 静岡県沼津土木事務所

工事第1課第1班

【事業名】

高潮対策事業 沼津牛臥海岸(沼津市下香貫)

【事業概要】

平成23年3月11日に発生した東日本大震災による津波災害を踏まえ、今後発生が予想される東海地震及び東海・東南海・南海の3連動地震等(第4次想定)から背後地で生活する県民の生命・財産を保護するため、海岸堤防の液状化対策及び嵩上げを実施します。

【事業計画】

全体期間: 平成26年度～令和8年度(予定)

全体延長: L=1,323m

事業費: C=3,120百万円

【事業効果】

牛臥海岸背後の面積: 約550ha、人口: 約6.5千人の住民の生命と財産を守ります。

【進捗状況】

平成28年度から右岸・左岸陸閘嵩上げ工事に着手し、昨年度までに、陸閘の取付工事及び既存堤防のかさ上げ工事が完了しました。嵩上げされた堤防天端は地域の皆様の散歩道として親しまれています。

【令和7年度事業】

下写真の赤区間の水門嵩上工事を実施します。隣接する牛臥山公園を一部使用しながらの工事を予定しています。

【今後の予定】

年度を跨ぐ債務予算を活用しながらR8年度の水門嵩上完了を目指します。



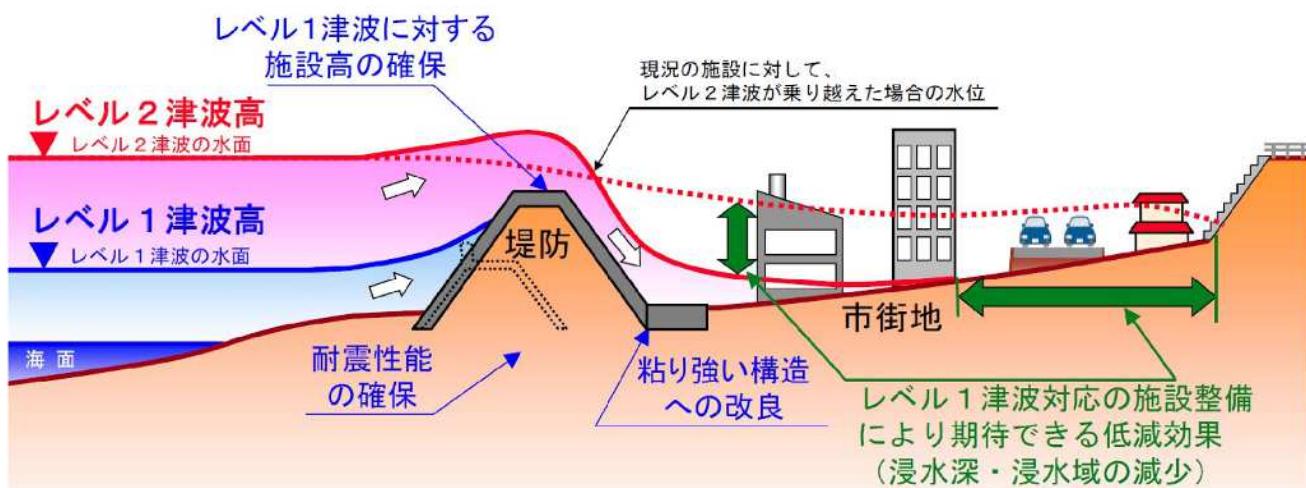
津波対策のイメージ

【レベル1地震・津波】

本県がこれまで地震被害想定の対象としてきた東海地震のように、発生頻度が比較的高く(駿河・南海トラフでは約100~150年に1回)発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波

【レベル2地震・津波】

内閣府から示された南海トラフ巨大地震のように、発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波



想定浸水区域(レベル1 地震-5 連動総合モデル)

